

Fujizack フジザック 通信 24



これは、ふじざくら支援学校から保護者の方に情報提供する不定期通信です。
【第24号】令和4年3月18日 文責：校長

過日の新聞に、令和3年度末の人事異動(管理職)の一覧が掲載されました。このたび私は、高等支援学校桃花台学園に異動することになりました。ふじざくら支援学校には2年間勤務させていただきましたが、私の感覚では、まさに“あつという間”の2年間でした。朝日に輝く富士山を目指して出勤する朝…。煌びやかな甲府盆地の夜景を目指して退勤する夜…。峠を往復する1日90kmの通勤も、あと僅かになりました。

2年前の2月27日(木)の夕方のことです。県教育委員会に、「安倍首相は、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、3月2日(月)から春休みまで全国の学校を臨時休校にするよう要請」というニュースが舞い込んできました。県教育委員会の課長クラスと幹部が教育長室に緊急招集され、深夜まで対策を協議したことを鮮明に記憶しています。

その4月に、私はふじざくら支援学校に着任したのですが、まだ得体の知れない新型コロナウイルス感染症のために始業式も入学式も延期され、児童生徒と顔を合わせることもなく約2か月過ぎました。校長の立場としては、この間は不安や迷いの日々でした。そして、5月25日(月)になってやっと学校が再開したのですが、学校が動き出したという安堵感と、校内で児童生徒に感染が拡大するのではないかとという恐怖心が交錯した複雑な心境の毎日でした。

この2年間には、何度も新型コロナウイルスの感染拡大の波があり、そのたびに計画していた学校行事等が影響を受け、内容変更や延期・中止を余儀なくされました。楽しみにしながら事前学習等に熱心に取り組んでいた児童生徒の姿を見ていたので、とても辛い決断を何回もしなければなりません。そして、児童生徒の学びを止めないために、行事を担当する先生方に繰り返し修正案の検討をしていただきながら、コロナ禍における教育活動の充実を目指して全教職員で取り組んできたところです。その都度、保護者の皆様にも御理解をいただき、学校の方針に御協力いただいたことは、とても心強く感じておりました。そして、心から感謝しています。

PTA活動についても同様です。令和2年度には、その前年度までの実績を評価され、文部科学大臣から全国表彰を受けた[ふじざくら支援学校PTA]です。それが、この2年間は多くの活動が制限されてしまい、とても残念な状況でした。学校教育は、保護者や地域と共に成り立つものですから、これまでのような取組が決して途絶えることがないよう、次年度以降に立て直していただけたら幸いです。

ふじざくら支援学校の児童生徒、保護者、そして教職員には、コロナ禍のために使わずに蓄えているエネルギーがたくさんあることを、私は知っています。次年度は、この感染症の収束状況を見ながら、それぞれの立場で持ち前のエネルギーを存分に発揮され、27年目のふじざくら支援学校が一層盛り上がっていくことを期待しています。

2年間の深い御理解と温かい御支援、ありがとうございました。
今後も、ふじざくら支援学校への御支援をよろしくお願いいたします。

生徒が描いた私の肖像画です。左はHS画伯(高)によるもので校長室入口に、右はWA画伯(中)によるもので私の机にあります。毎日これに元気をもらいながら過ごすことができました。

本校相談室には、[歴代校長の写真]がズラリと並んでいます。第12代校長だけは、この素敵な肖像画に代えたいなあ……。



➤令和3年度末の一般教職員の人事異動については、3月25日(金)の新聞紙面に掲載される予定です。

